## 同窓の皆様へ

2月21日に竹内(S44E)がその2を報告しましたが、海学祭に合わせて中間報告します。

いこの絡まっている索具類を可能な限り解きほぐし、オリジナルの張り方をスケッチするのに時間がかかりました。 解しながら手繰っていくと最後に糸が切れているのが分かる事が多く、繋がりが分かるのは半分以下です。 最後は帆船の標準的な張り方を勉強して倣うことにしてバラし始めました。



6月 Main Mast 抜き出し前



9月 Fore Mast Rope 張りのスケッチの様子





8月 Fore Mast 取り外し前のマーキング



7月 Main Mast を抜き出した



倒9月船首楼の後ろ側は太い骨材の木目がそのまま出ている為、薄板を貼り込むことにしました。 後部ハウスの前側も同様に貼りました。 倒11月 Upper Deck の再塗装終了。

船首尾は材料の色が出てどうしても暗くなるので、中央デッキ部はなるべく明るく仕上げる事にしました。

垂直を見るため Fore Mast を差した。







関前の架台は11mm高くした。

水平に置くと前傾のように感じるから。
州 船首尾深さを測ってみる。





架台を作るために正確に水平垂直に置き直しました。Even Keel に置くと、模型の場合、前のめりのような印象を受けるので、船首を上げ気味にしました。船首は33mm高い。By The Starn 33mm。

架台の型取り。

架台を製作、仮挿入。





長谷川氏の救命艇は完成、多謝。今後塗装。下の現状を1年前の状態を示す上の写真と比べられたし。





Min Mast の帆は三井氏が作ってくれていましたが、12 月に反らせる細工を加えてみました。風をはらんでいるように見えますか? この写真の Mast は差し込んだだけで少し高すぎですが、非常に大きい模型と実感できるようになりました。M..Mast は又抜いて、上甲板上の工作物を仕上げていきます。 以上